

2021



The Behaviormetric Society

日本行動計量学会

第49回大会 プログラム冊子

Program of the 49th Annual Meeting of the Behaviormetric Society

2021年8月30日(月)～9月2日(木)



日本行動計量学会

第 49 回大会プログラム

このたび 8 月 30 日から 9 月 2 日までの 4 日間、日本行動計量学会の第 49 回大会を杏林大学で開催させていただくことになりました。

杏林大学は、医学部・保健学部・外国語学部・総合政策学部の 4 学部からなる東京都三鷹市に所在する総合大学で、杏林学園としては今年で創立 55 周年を迎えます。このような節目の年に、第 49 回大会を担当させて頂くことを大変嬉しく思っております。

会場となる井の頭キャンパスは、JR 中央線の吉祥寺駅あるいは三鷹駅からバスで 10 分～15 分程度の場所にあり、特に吉祥寺駅からのバスの本数は非常に多く、比較的アクセスしやすいところに位置しています。しかしながら、昨今の新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、今大会は、現地だけではなくオンラインも併せたハイブリッド形式での開催を予定しています。その意味では、むしろ、従来よりも参加しやすい大会になるのではないかと考えております。

初めてのハイブリッド開催ということで、大会発表者・司会者・討論者ならびに会員の皆様方には戸惑いやご負担を与えることとなりますが、新しい形での学会大会が成功しますように、実行委員一同、最善を尽くす所存です。

なお、今後の感染状況、政府の方針ならびに杏林大学の施設貸出方針によっては、ハイブリッド形式ではなく全面オンライン形式での開催に変更となる可能性もございます。皆様方におかれましては、事情をご賢察の上、積極的に大会にご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

第 49 回大会実行委員長 吉田 清隆
(杏林大学保健学部)

大会の概要

1. 基本情報

- (1) 期 間:2021年8月30日(月)～2021年9月2日(木)
30日は、チュートリアルセミナー
- (2) 場 所:杏林大学井の頭キャンパス
- (3) 大会ウェブページ URL :<http://bsj.wdc-jp.com/2021/>
- (4) 問い合わせ先:
大会ヘルプデスク(bsj-desk@bunken.co.jp)
大会実行委員会(bms2021taikai@gmail.com)
- (5) 大会の構成:
8月30日(月) 12:30～18:45(受付開始 12:00) チュートリアルセミナー
8月31日(火) 10:00～17:20(受付開始 9:15) 特別セッション、一般セッション、ラウンド
テーブル・ディスカッション
9月1日(水) 9:30～11:00(受付開始 9:00) 特別セッション、一般セッション、ラウンドテ
ーブル・ディスカッション
11:00～12:00 ポスター発表
13:00～14:00 総会
14:20～16:20 大会シンポジウム
16:40～17:40 柳井レクチャー
9月2日(木) 10:00～15:00(受付開始 9:30) 特別セッション、一般セッション

※開催形式はハイブリッド方式(現地とオンライン)を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況、政府の方針ならびに杏林大学の施設貸出方針によっては、全面オンライン形式での開催となる可能性もございます。どちらの形式になるかは8月16日頃に大会ウェブページ上でお知らせいたします。

2. 大会までのスケジュール

2021年3月26日(金)	Web サイト公開
2021年4月5日(月)	特別セッションの企画募集開始
2021年4月26日(月)	大会参加事前申込、一般発表申込、抄録原稿受付 チュートリアルセミナー参加申込、各種開始
2021年5月31日(月)	特別セッションの企画募集締め切り
2021年6月7日(木)	一般研究発表申込締め切り
2021年6月21日(月)	抄録原稿提出締め切り
2021年7月下旬	速報版プログラムウェブ公開予定
2021年8月上旬	プログラム冊子送付予定

2021年8月5日(木) 事前参加申込締め切り
 2021年8月6日(金) 事前参加費振込締め切り
 2021年8月30日(月)～9月2日(木) 第49回大会(30日はチュートリアルセミナー)

3. 参加費等

(1) チュートリアルセミナー参加費

テーマ A	正会員	準会員(学生)	賛助会員	非会員(一般)	非会員(学生)
早期振込	3,000 円	2,000 円	3,000 円	6,000 円	4,000 円
当日支払	4,000 円	3,000 円	4,000 円	7,000 円	5,000 円
テーマ B	正会員	準会員(学生)	賛助会員	非会員(一般)	非会員(学生)
早期振込	3,000 円	2,000 円	3,000 円	6,000 円	4,000 円
当日支払	4,000 円	3,000 円	4,000 円	7,000 円	5,000 円

- 早期振込は Web による参加申込(8月5日まで)と、参加費振込(8月6日まで)をともに行われた方が対象です。
- それ以後は当日会場にて、参加のお申込みと会費をお支払いください。
- 参加費のお振込みまで完了頂いた場合、参加キャンセルはできませんのでご注意ください。

(2) 大会参加費

	正会員	準会員(学生)	賛助会員	非会員(一般)	非会員(学生)
早期振込	6,000 円	3,000 円	6,000 円	10,000 円	6,000 円
当日支払	8,000 円	5,000 円	8,000 円	12,000 円	8,000 円

- 大会参加費には抄録集 1冊を含みます。
- 正会員には名誉会員・シニア会員を含みます。
- 賛助会員は 3名様まで無料です。事前に参加券を 3枚お送りしますので、この券を持参された方が対象です。4人目以降は、上記金額です。なお、事前参加申込みより無料の登録を行った方も、当日必ず参加券をご持参ください。
- 抄録集は 1冊 3,000 円で頒布します。
- 早期振込は Web による参加申込(8月5日まで)と、参加費振込(8月6日まで)をともに行われた方が対象です。それ以後は当日会場にて、参加のお申込みと会費をお支払いください。
- 参加費のお振込みまで完了頂いた場合、参加キャンセルはできませんのでご注意ください。

4. 宿泊について

宿泊先は予約、斡旋しておりません。

5. 昼食について

本学の F 棟 1 階に食堂がございます。大学の周辺に食堂の類があまりございません。ご持参頂るか本学食堂をご利用頂ければと存じます。なお、新型コロナウイルス感染状況によっては本学食堂が休業・時短営業となる可能性がございますのでご承知おきください。

無線 LAN

キャンパス内では無線 LAN の使用が可能です。ただし、それほど大人数に対応できるものではなく、通信速度については遅くなる可能性がありますので、それをご理解の上、ご利用ください。利用方法などについては希望される方に接続する SSID やインターネット認証のパスワードを受付にて配布します。セキュリティ対策を万全の上、ご利用をお願いします。

会場の機器と発表用資料について

「口頭発表」では、ハイブリッド方式(会場での発表、遠隔からの発表)を予定しています。

(1) 会場での発表

液晶プロジェクタおよび大型スクリーンが利用できます。コネクタは HDMI(通常サイズ)方式に対応しております。PC はご自身のものをご持参ください。MacOS や HDMI ミニに対応した PC をお持ち込みの場合は変換アダプタをご用意ください。また、セッション前には接続テストを済ませてください。発表用の資料は原則として抄録集に掲載されたものとします。オーラル(口頭)セッションで補足資料を利用する場合は、50 部程度を目安として配布プリントをご持参ください。

(2) 遠隔からの発表

オンライン会議システム(Zoom)を利用していただきます。使用する PC には事前に Zoom をインストールしていただき、発表当日までに使用方法に慣れておいて下さい。

一般セッションについて

本大会は、ある特定テーマについて議論を行う「特別セッション」と一般研究発表を行う「一般セッション」から構成されます。第49回大会の一般セッションの発表形態には「ポスター」、「オーラル(口頭)」があります。

一般セッション「ポスター」では、割り当てられたセッション中にポスターを掲示し、かつ、各ポスターの発表者が在席責任時間の60分間、質疑に応じます。詳細については、別項目「ポスターセッションについて」に記載されていますので、そちらをご覧ください。

一般セッション「オーラル(口頭)」における発表時間は、質疑応答を含めて20分です。座長の指示に従い、時間厳守をお願いいたします。「会場の機器と発表用資料について」の説明もご覧ください。

特別セッションについて

本大会は、ある特定テーマについて議論を行う「特別セッション」と一般研究発表を行う「一般セッション」から構成されます。第49回大会の特別セッションの発表形態には、「オーラル(口頭)」、「ラウンドテーブル」があります。

特別セッション「オーラル(口頭)」は、1セッション120分で、3件以上の発表をまとめ、一つの企画として実施されます。セッションは、オーガナイザー、司会者、討論者により進行します。それぞれのテーマに沿って発表を行い、発表に関しては、フロアからの質疑応答も可能です。その1、その2として、複数セッションで実施されることもあります。

特別セッション「ラウンドテーブル」については、別項目「ラウンドテーブル・ディスカッションについて」に記載されていますので、そちらをご覧ください。

いずれも発表形式の詳細については事前にオーガナイザーの方にお問い合わせください。また、あわせて「会場の機器と発表用資料について」の説明もご覧ください。

ポスターセッションについて

一般セッション「ポスター」は、2021年9月1日(水) 11:00～12:00にF棟4階(F402, F409)を会場として実施します。発表は、次の要項に従って行いますので、発表者の方は、間違いのないようにしてください。

【ポスター発表の成立について】

1. ポスター発表は、指定された時刻までに会場の指定されたボード位置にポスターを掲示し、指定された責任在席時間(60分間)中、在席し、質疑に応じることにより、正式発表とみなされます。
2. 責任在席時間は、2021年9月1日(水) 11:00～12:00の60分間とします。責任在席時間以外の時間に在席されることは自由です。
3. 11:00に、ポスターセッションの座長が席に着き、発表者の在席を順次確認します。その後、12:00にも発表者の在席を確認します。
4. ポスター発表者が欠席した場合、および責任在席時間にいらない場合は、「発表取消」となります。発表者の欠席、(連名発表の場合の)発表者の交替などについては、会期前は大会実行委員会に、会期中はポスターセッション座長にご連絡ください。

【ポスターの準備について】

5. ポスター掲示板(ボード)の大きさは、横180cm×縦90cm(A0サイズのポスターが掲示可能)です。これをポスターの大きさの上限として作成してください。
6. ポスターの上部には、発表題目と発表者全員の氏名と所属をご記入ください。連名の場合には主発表者に○印を付けてください。

【発表当日について】

7. 発表者がどの部屋で発表を行うかは、ポスター会場にわかるように掲示しますので、ご確認の上、ご準備ください。
8. 発表者は、発表当日の10:00までに総合受付で発表手続を行ってください。発表者の到着確認を行います。その際、ポスター掲示用の押しピンを受け取り、発表会場の指定された番号のボードにポスターを貼ってください(もし別の方法でポスターを貼り付けたい場合は、必要なものをご持参ください)。
9. 発表者は、10:30までに貼り付け作業を終了してください。10:30の時点で貼り付けが終了されていることを実行委員が確認します。
10. 発表用の資料は原則として抄録集に掲載されたものとします。補足資料を配布される方は、50部程度をご持参ください。配布も各自でお願いします。
11. 掲示したポスターは、ポスターセッションの座長が終了をお知らせした後、16:30までに片付けてください。それ以降も掲示したままのポスターは大会実行委員会に取り外し、処分いたします。

ラウンドテーブル・ディスカッションについて

本大会では、大会実行委員会企画としてラウンドテーブル・ディスカッションを行います。ラウンドテーブル・ディスカッションは、円卓を囲み、話題提供者（「発表者」、「オーガナイザー」）のテーマにより自由に意見を交換しながら議論する場です。先着順にテーブルに着席した参加者は「討論者」として自由に発言できます。しかし、議論した結果が特定の結論に至ることを課題としません。ラウンドテーブル・ディスカッションは研究成果を報告するだけではなく、現在抱えている研究上の疑問、現場での課題、課題についての解決策などを持ち寄り、参加者全員で当該のテーマについて議論します。また、これまでの現場での体験や研究成果をもとに新たな仮説を提案し、それをもとに議論することも可能です。

1つのセッションの時間は60分となります（セッションを2つ組み合わせた120分のセッションもあります）。一般セッションとは異なり、十分な時間をかけて話題提供者と参加者が自由に意見交換を行い、テーブルを囲む全員が同じ立場と目線で話し合います。また、議論した内容を踏まえた上で、話題提供者だけでなく、参加している方々の研究についても、改めて深く考えていただき、今後のご自身の研究をどのように発展させたいかを考え、その内容をグループで共有し、さらに意見や感想をやりとりしていただくような研究者の交流の場としてもご利用いただければと思います。さらに、テーブルを囲む参加者（討論者）以外で、周囲のオブザーバー（テーブルの周囲の聴衆）も議論に参加することも可能です。話題提供者と参加者（討論者）が意見を交わしている状況に、オブザーバーが発言していただいてもかまいません。

なお、本大会では会場設営の都合上、円卓ではなくテーブルを口の字（四角）に配置し、椅子を10～15脚程度準備します。話題提供者（発表者・オーガナイザー）も参加者もともに着席します。参加希望者が多い場合は、周りのオブザーバー用の席をご利用いただきます。

1. ラウンドテーブル・ディスカッションは話題提供者（「発表者」、「オーガナイザー」）も参加者（討論者）も、ともに着席して開始します。なお、途中の入退場は極力お控えください。

「オーガナイザー」…セッションの企画者

「司会者」…話題提供者と討議の開始と進行を支える参加者

「発表者」…セッションにおける報告者

「討論者」…テーブルを囲んで討論する参加者

「オブザーバー」…テーブルの周囲の聴衆

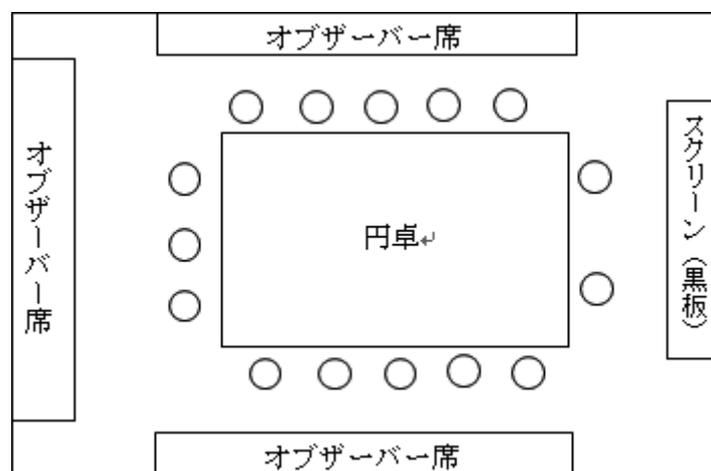
（注）「参加者」は上記の全員、「話題提供者」は「オーガナイザー」と「発表者」の両方を指します。

2. まずは話題提供者が、研究の概要と論点についての説明を行ってください。セッションの時間の半分以上を討論の時間に充てるため、この説明が長くなりすぎないように気をつけてください。
3. 次に討論者全員が、ショートコメントをまじえた自己紹介を行ってください。
4. その後は話題提供者の発表の流れに沿いながら、討論者などからのコメントをまじえ、参加者全員で意見交換を進めてください。意見が活発に出始め、論点が具体化したら、その流れに任せてください。

5. 司会者は第一の参加者として発言者を助け、ラウンドテーブルを囲む全員が交流できるよう、話題提供者と討議の開始と進行を支えてください。議論のための時間(セッションの半分以上)を確保するだけでなく、参加者に対し発言を促すようなことも状況に応じて行ってください。ただし、研究報告の主体は話題提供者であり、討議の主体は話題提供者と参加者です。司会者が進行に気を使わずとも、両者の発言が順調に進み始めたら、司会者は討議について自然の成り行きに任せてください。なお、司会者は、全体の意見をまとめたり、結論づけたりすることに責任を負う必要はありません。一参加者として、意見の交流を楽しんでください。また、討論者や他の参加者と協力し、時間どおりの開始と終了を目指して、時間の管理と進行をお願いします。
6. 今回のラウンドテーブル・ディスカッションでは、討議に加わらず、オブザーバーとして周囲で見学をするだけでも構いません。しかし、ご自身の意見を一言述べていただくだけでも研究の交流が生まれますので、可能な限りテーブルに着席し、討議に参加してください。一人でも多くの方にテーブルに着席して議論に参加していただければ、意見交換も盛り上がると思います。積極的なご参加をお願いいたします。

※話題提供者はテーマについて議論できるような発表用の資料(プレゼン用ファイル、配布資料等)をご準備ください。補足資料がある場合は 30 部程度を目安として配布資料をご用意ください。発表には液晶プロジェクタが利用できます。PC はご自身のものをご用意の上、セッション開始前に接続テストを済ませてください。

ラウンドテーブル・ディスカッション会場イメージ



*会場によっては若干イメージと異なる場合があります。

チュートリアルセミナー

日 時：2021年8月30日(月) (12:00 受付開始)

テーマ A: 12:30~15:30 テーマ B: 15:45~18:45

テーマ A: それ何測ってるの?—調査研究・理論と展開

司 会：芳賀 麻誉美 (大阪経済大学)

講 師：清水 裕士(関西学院大学) 小杉 考司(専修大学)

指定討論者：狩野 裕(大阪大学)

場 所：杏林大学井の頭キャンパス F棟3階 A会場(F309)

概 要：

人に関するデータを集める需要が増えたのか、あるいはコロナの功罪か、ウェブを介した調査や実験が簡単に実践できる土壌が広がっている。

郵送調査やRDDなどの苦勞をしなくとも、クラウドで回答者を募集し、欠損値や転記ミスを気にする必要のないデータが簡単に手に入る時代が来た。要らぬ苦勞はしなくとも良いが、さてしかし、調査ってこんなにチョロくていいのかしら。

心理学はかつて大学生心理学と揶揄されることもあったが、それでも何を測っているのかについては態度理論という理論的裏付けを持っていた。

こうした理論的支柱なき調査実践は、一体何を測っているのだろうか。信頼性や妥当性が大事だとは言われるけれども、そもそも「目盛り丸をつける行動」「最も当てはまる選択肢をクリックする行動」は人の何を測ったことになるのだろうか。

慣例的な方法は、表層的な実践事例の情報でしかなく、応用や更なる活用には根本原理の理解が必要である。

ここでは心理測定の中で考えられてきた、測定の理論、モデル、妥当性、についての基礎的な知識を改めて確認し、モデリングの技術を用いてより相応しい尺度化についての展望を議論します。

テーマ B: 私ならこう教える!そしてこう学び直す! — 統計教育の根本問題

司 会：芳賀 麻誉美 (大阪経済大学)

講 師：小杉 考司(専修大学) 清水 裕士(関西学院大学)

指定討論者：狩野 裕(大阪大学)

場 所：杏林大学井の頭キャンパス F棟3階 A会場(F309)

概 要：

機械学習やベイズモデリングなど、新しい手法が次々生まれてくる昨今は、統計と一言で言っても学ぶべきこと・教えるべきことは非常に多岐にわたるようになっている。

数学的基礎を考えるのであれば線形代数は避けては通れないし、線形モデルに限定しても一般化線形モデルから階層ベイズモデリングへと先ほどこまでも広がっていく。

より実践的なデータサイエンティストを目指すのであれば、コンピュータ言語や実行環境などの動

向も視野に入れておかなければならない。

例えば心理学における統計の利用といった、限定的ユーザーであるとしても、記述統計量と分散分析だけでひとまずやっていけるという時代でないことは誰の目にも明らかである。

学ぶべきことが多いのは統計モデルの発展だけではない。

心理学の領域では公認心理師という国家資格を得るために必要な様々なカリキュラムが作られ、学ぶ側としては非常に多岐にわたる知識を取り込む必要があり、教育する側も時間の制約の中で対応を迫られる。いわば食べ放題バイキングの料理の種類が増え、短い制限時間のなかで、しっかりと楽しむための戦略を練る必要がある。

何のために何を選びどこまで取り込めば良いのか。

話題提供者の二人は、社会心理学という統計学でも実験や臨床など心理学の中心でもないところで生まれ育ったという意味で、新参者・異端者であるかもしれないが、それぞれの観点から見た心理統計教育の根本問題について、思うところをお伝えします。

第 49 回大会シンポジウム

第 49 回大会では以下のとおり大会シンポジウムを実施します。

日 時：2021 年 9 月 1 日(水)14:20～16:20

会 場：杏林大学井の頭キャンパス F 棟 3 階 A 会場(F309)

タイトル：行動計量学とデータ科学(サイエンス)の「接平面」

司会・オーガナイザー：今泉 忠(多摩大学)

シンポジスト：

足立 竜治(ソフトバンク株式会社)

竹村 彰通(滋賀大学)

中西 崇文(武蔵野大学)

酒折 文武(中央大学)

山口 和範(立教大学)

概 要：

近年、企業などでもDX(Digital Transformation)の実施が推進され、大学でも学部での基礎的な学修でのデータサイエンスが必修化され、それへの認定制度なども告知されている。しかし、社会的課題の解決のためには、人間の行動に関する十分な理解とその研究をもとにした知見や計量的な手法の適用についてより深く研究し、それをもとに教育や課題解決へ取り組むことなどを通じて社会へ還元することが従来にも増して社会から求められているのでないであろうか？

このシンポジウムでは、これらに関して一層の深化を図るために、各界の専門家を交えて、行動計量 × データ科学(サイエンス)での「接平面」について討議する。

特別講演「柳井レクチャー」

第 49 回大会では以下のように特別講演「柳井レクチャー」を実施します。柳井レクチャーは、2013 年に逝去された故柳井晴夫先生のご業績および学会へのご貢献を顕彰するため 2014 年 11 月 10 日開催の理事会にて創設が決定されました。柳井レクチャーでは、故柳井晴夫先生のご業績に鑑み行動科学における計量的方法の理論と応用について、講演者を毎年 1 名選出し、大会時に 1 時間程度の特別講演を行っていただきます。

日 時： 2021 年 9 月 1 日(水)16:40～17:40

会 場： 杏林大学井の頭キャンパス F 棟 3 階 A 会場(F309)

タイトル： 多重対応分析の因子分析的使用 — 社会調査データの記述的多変量解析 —

講演者： 村上 隆（中京大学文化科学研究所）

司会者： 吉野 諒三（同志社大学）

概 要：

多重対応分析は、長く社会調査データの探索的分析方法として確固たる地位を占めてきた。ただし今日では、多くの変数を含む量的社会調査の分析方法として、やや物足りない部分も意識される。本講演では、あらかじめ定義された正規直交な数量をカテゴリーに付与したうえで主成分分析を行うという試みについて、実データへの適用例を中心に説明したい。この方法は、多重対応分析と実質的に同じスコアを産み出す一方、解の回転とパターン行列の算出により、解釈の中心を空間表現から軸に移し、さらに bootstrap 法による統計的推測も行う。この手続きにより、調査結果の全容を比較的早くつかむことができるだけでなく、近年急速に利用が増えている潜在変量に依拠した分析では見落とされる個人の反応スタイルの発見も可能になる。

総会

日時：2021年9月1日(水)13:00～14:00

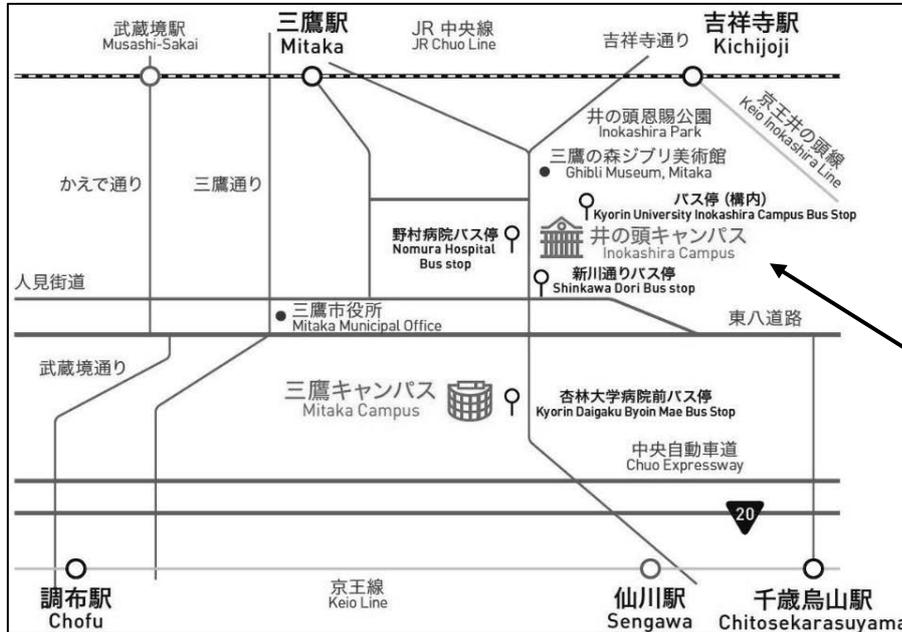
会場：杏林大学井の頭キャンパス F棟3階 A会場(F309)

総会にオンライン参加の場合の接続先は、大会開催前に会員メーリングリストでお知らせします。
会員メーリングリストの購読ができない場合は、大会実行委員会まで直接お問い合わせください。

懇親会

新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して、開催いたしません。

杏林大学井の頭キャンパスへの交通アクセス



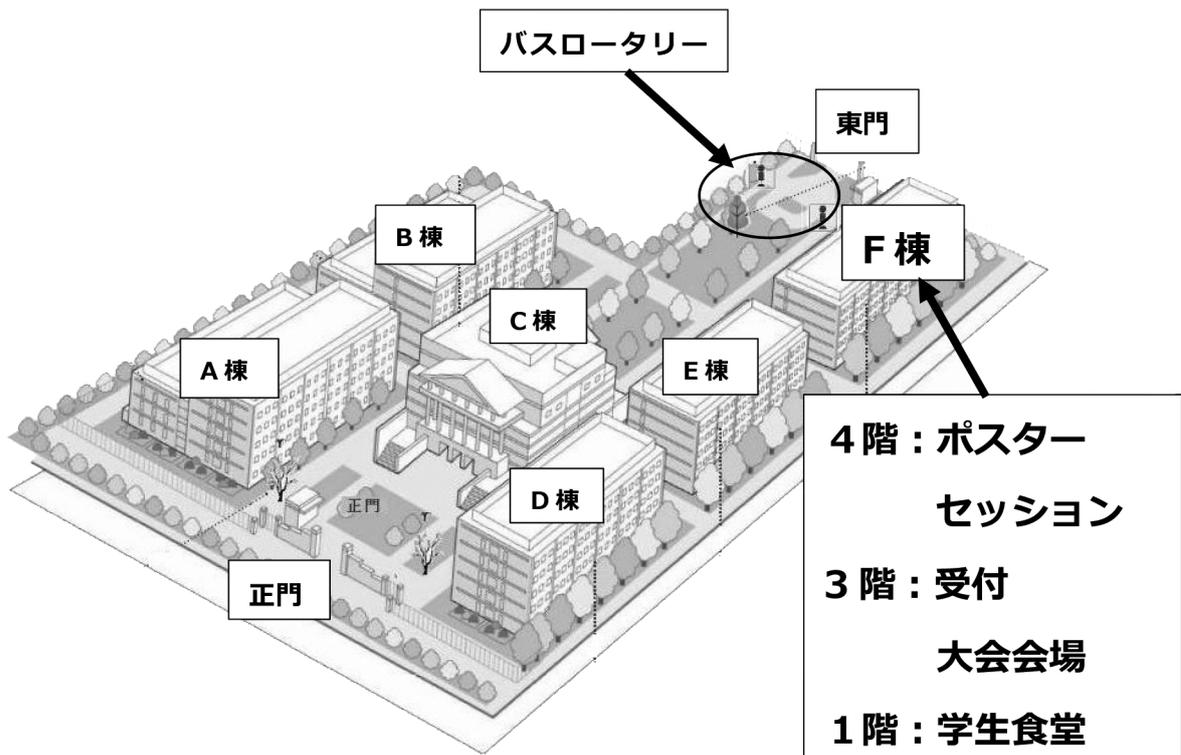
※大会会場は
井の頭キャンパス
となります

最寄り駅からのアクセス

<バス>

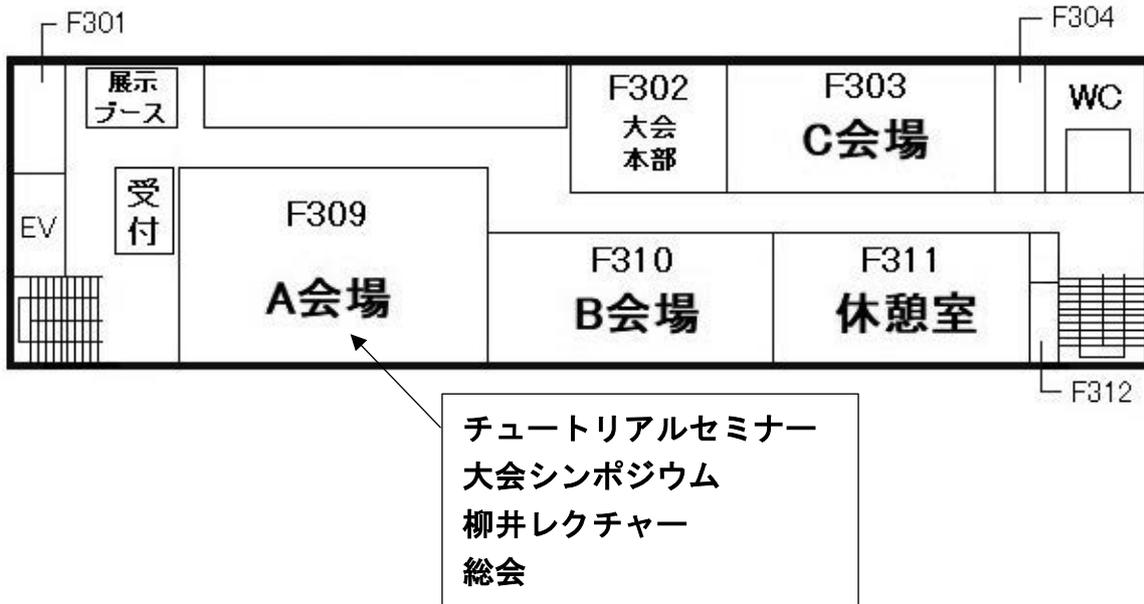
- ・三鷹駅(JR 中央線・総武線)南口バス乗り場より
バス乗り場(8番): 杏林大学井の頭キャンパス行(約15分)
- ・吉祥寺駅(JR 中央線・総武線・京王井の頭線)南口バス乗り場より
バス乗り場(5番): 杏林大学井の頭キャンパス行(約15分)
バス乗り場(2番): 千歳烏山駅北口行<新川経由>「新川」下車(約9分)
バス乗り場(3番): 大沢行「新川」下車(約9分)、武蔵境駅南口行<大沢経由>「新川」下車(約9分)
バス乗り場(4番): 調布駅北口行<神代植物公園前経由>「新川」下車(約9分)
バス乗り場(6番): 深大寺行「新川」下車(約9分)、野ヶ谷行「新川」下車(約9分)
調布駅北口行<野ヶ谷経由>「新川」下車(約9分)
- ・千歳烏山駅(京王線)北口バス乗り場より
バス乗り場(1番): 吉祥寺駅行・吉祥寺駅中央口行「野村病院」下車(約20分)
- ・仙川駅(京王線)より
バス乗り場(1番): 吉祥寺駅中央口行「野村病院」下車(約20分)
- ・調布駅(京王線)北口バス乗り場より
バス乗り場(12番): 神代植物公園前経由 吉祥寺駅中央口行・吉祥寺駅行「野村病院」下車(約20分)
野ヶ谷経由 吉祥寺駅中央口行・吉祥寺駅行「野村病院」下車(約25分)

杏林大学井の頭キャンパスマップ

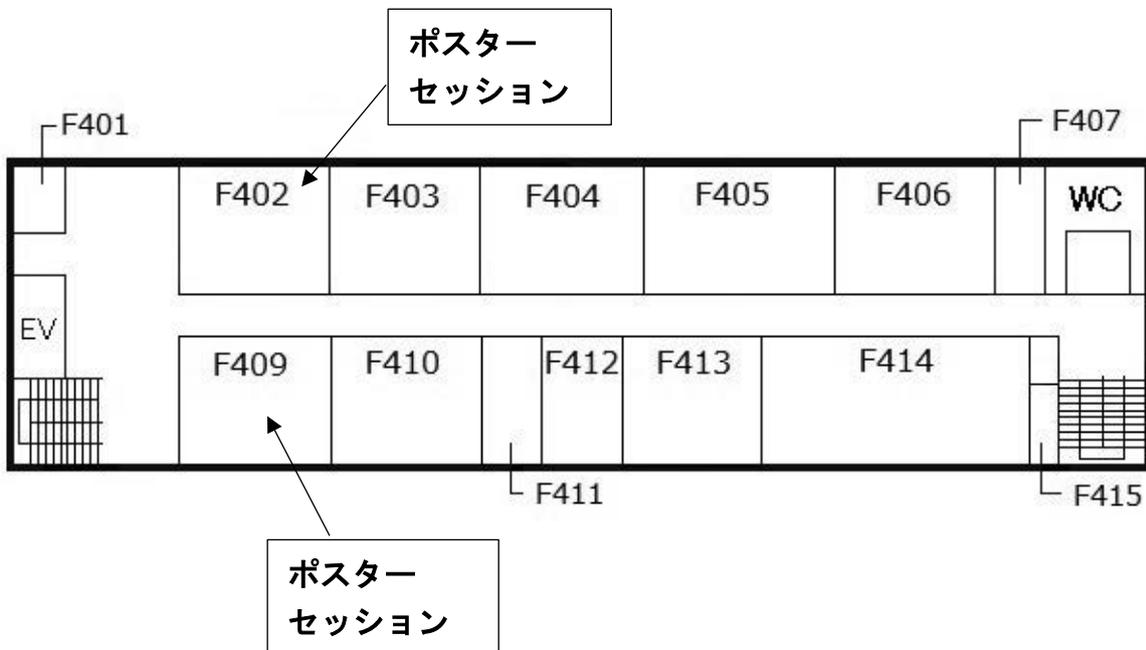


会場見取り図

F棟3階(平面図)



F棟4階(平面図)



プログラム

8月30日（月）	
チュートリアルセミナー	
12:30 ～ 15:30	<p>テーマA</p> <p>タイトル： それ何測ってるの？—調査研究・理論と展開</p> <p>司 会： 芳賀麻誉美(大阪経済大学)</p> <p>講 師： 清水裕士(関西学院大学) 小杉考司(専修大学)</p> <p>指定討論者： 狩野 裕(大阪大学)</p> <p>会 場： F棟3階 A会場 (F309)</p>
15:45 ～ 18:45	<p>テーマB</p> <p>タイトル： 私ならこう教える！そしてこう学び直す！—統計教育の根本問題</p> <p>司 会： 芳賀麻誉美(大阪経済大学)</p> <p>講 師： 小杉考司(専修大学) 清水裕士(関西学院大学)</p> <p>指定討論者： 狩野 裕(大阪大学)</p> <p>会 場： F棟3階 A会場 (F309)</p>

8月31日（火）			
	A会場 F309	B会場 F310	C会場 F303
10:00 ～ 12:00	特別セッション	一般セッション	一般セッション
	SB1 心理学におけるモデリング アプローチの展開 III (1)	CA1 数理モデル	CA2 調査
12:00 ～ 13:00	昼休み		
13:00 ～ 15:00	特別セッション	一般セッション	ラウンドテーブル
	SB2 心理学におけるモデリング アプローチの展開 III (2)	CA3 マーケティング (1)	SB3 COVID-19 意思決定過程の様相
15:20 ～ 17:20	特別セッション	一般セッション	一般セッション
	SB4 非対称多元データ	CA4 マーケティング (2)	CA5 教育・テスト

9月1日(水)			
	A会場 F309	B会場 F310	C会場 F303
9:30 ～ 11:00	特別セッション	一般セッション	ラウンドテーブル
	SB5 ヘルスケアと消費者行動： 健康政策・コロナ対策に着目して	CA6 マーケティング(3)	SB6 多様な非対称データのための 分析モデルとその応用(60分)
11:00 ～ 12:00	ポスター発表 会場：F棟4階(F402, F409)		
12:00 ～ 13:00	昼休み		
13:00 ～ 14:00	総会 会場：F棟3階A会場(F309)		
14:20 ～ 16:20	大会シンポジウム タイトル：行動計量学とデータ科学(サイエンス)の「接平面」 司会者・オーガナイザー：今泉 忠(多摩大学) シンポジスト：足立 竜治(ソフトバンク株式会社), 竹村 彰通(滋賀大学) 中西 崇文(武蔵野大学), 酒折 文武(中央大学), 山口和範(立教大学) 会場：F棟3階A会場(F309)		
16:40 ～ 17:40	柳井レクチャー 講演タイトル：多重対応分析の因子分析的使用ー社会調査データの記述的多変量解析ー 講演者：村上 隆(中京大学文化科学研究所) 司会者：吉野 諒三(同志社大学) 会場：F棟3階A会場(F309)		

9月2日(木)			
	A会場 F309	B会場 F310	C会場 F303
10:00 ～ 12:00	特別セッション	一般セッション	一般セッション
	SB7 マーケティングにおける データサイエンス(1)	CA7 文化・テキストマイニング	CA8 健康
12:00 ～ 13:00	昼休み		
13:00 ～ 15:00	特別セッション	特別セッション	一般セッション
	SB8 マーケティングにおける データサイエンス(2)	SB9 社会の課題解決のための 社会調査・世論調査	CA9 認知・情報・AI

8月30日(月)

12:30-15:30

8月30日(月) チュートリアルセミナーA【A会場 F309】
それ何測ってるの? — 調査研究・理論と展開

司会者:芳賀 麻誉美(大阪経済大学)

討論者:狩野 裕(大阪大学)

○清水 裕士(関西学院大学), 小杉考司(専修大学)

15:45-18:45

8月30日(月) チュートリアルセミナーB【A会場 F309】
私ならこう教える!そしてこう学び直す! — 統計教育の根本問題

司会者:芳賀 麻誉美(大阪経済大学)

討論者:狩野 裕(大阪大学)

○小杉考司(専修大学), 清水裕士(関西学院大学)

8月31日(火)

10:00-12:00

8月31日(火) 特別セッション(120分)【A会場 F309】
心理学におけるモデリングアプローチの展開 III (1)

オーガナイザー:武藤 拓之(京都大学こころの未来研究センター)

司会者:小杉 考司(専修大学人間科学部)

SB1-1

エフォートによる価値割引効果のベイズ階層モデリング

○小林 穂波(関西学院大学文学研究科), 紀ノ定 保礼(静岡理工科大学情報学部), 伊藤 友一(関西学院大学文学部)

SB1-2

メタ理解判断プロセスの認知モデリング

○若井 大成(東京大学教育学研究科), 岡田 謙介(東京大学大学院教育学研究科)

SB1-3

刺激材料の特性を考慮した虚偽記憶実験のモデリング

○島津 奈留(東京大学大学院教育学研究科), 岡田 謙介(東京大学大学院教育学研究科)

SB1-4

モデルに基づいた社会的価値志向性の測定法の提案

○水野 景子(関西学院大学社会学研究科), 清水 裕士(関西学院大学社会学部)

SB1-5

遺伝的プログラミングを用いた AI による強化学習モデルの探索

○宮崎 聖人(北海道大学文学院)

8月31日(火) 一般セッション(120分)【B会場 F310】
数理モデル

座長: 荘島 宏二郎(大学入試センター)

CA1-1 10:00~10:20

日本での COVID-19 禍における PCR 陽性者数と感染死亡者数の

Granger 因果性の検討

○濱田 悦生(大阪工業大学)

CA1-2 10:20~10:40

ベイズ型多項ロジット APC モデルを用いた要因分解

政治課題に関する 1973 年から 2013 年までの時系列変化

○松本 雄大(法政大学 大学評価室 IR)

CA1-3 10:40~11:00

スパースな経時測定データにおけるクラスタ構造の推定

○山本 倫生(岡山大学大学院環境生命科学研究科), 寺田 吉壺(大阪大学大学院基礎工学研究科)

CA1-4 11:00～11:20

深層学習の二重降下を緩和するドロップアウトについて

○楊 天楽(大阪大学大学院基礎工学研究科), 鈴木 讓(大阪大学大学院基礎工学研究科)

CA1-5 11:20～11:40

交絡の存在を許容する LiNGAM の一般化: 離散変数の場合

鈴木 讓(大阪大学大学院基礎工学研究科), ○稲岡 雄介(大阪大学)

CA1-6 11:40～12:00

グループ Lasso における Selective Inference

○田坂 理英子(大阪大学大学院基礎工学研究科), 鈴木 讓(大阪大学大学院基礎工学研究科)

8月31日(火) 一般セッション(120分)【C会場 F303】
調査

座長: 鄭 躍軍(同志社大学)

CA2-1 10:00～10:20

自記式調査におけるアイトラッキングによる回答行動の分析

Web 調査用質問画面での質問・回答型式の比較

○岡野 雅雄(文教大学), 浅川 雅美(文教大学), 林 英夫(医療法人豊明会)

CA2-2 10:20～10:40

国際比較／文化比較調査における測定の等価性／不変性の研究

—多集団確証的因子分析(MGCF A)を中心として—

真鍋 一史(統計数理研究所), ○前田 忠彦(統計数理研究所), 清水 香基(北海道大学大学院文学研究院)

CA2-3 10:40～11:00

犯罪者の犯行のための移動に関連する要因

- 東京都の住宅対象侵入窃盗犯に焦点を当てた分析 -

○平間 一樹(科学警察研究所, 東京都立大学), 横田 賀英子(科学警察研究所), 大塚 祐輔(科学警察研究所), 渡邊 和美(科学警察研究所), 矢部直人(東京都立大学)

CA2-4 11:00～11:20

Crime and Fear of Crime in Japan

A Multilevel Analysis of Repeated Cross-Sectional Questionnaire Survey and the Census

○鈴木 あい(University College London), 島田 貴仁(科学警察研究所)

13:00-15:00

8月31日(火) 特別セッション(120分)【A会場 F309】
心理学におけるモデリングアプローチの展開 III (2)

オーガナイザー: 武藤 拓之(京都大学こころの未来研究センター)

司会者: 小杉 考司(専修大学人間科学部)

SB2-1

カジノにおけるギャンブルの利得と損失が次の来店までの時間間隔に及ぼす影響

顧客データの階層ベイズ生存時間解析

○武藤 拓之(京都大学こころの未来研究センター), 中井 隆介(京都大学こころの未来研究センター), 村井 俊哉(京都大学大学院医学研究科), 吉川 左紀子(京都芸術大学芸術学部), 阿部 修士(京都大学こころの未来研究センター)

SB2-2

反応過程の個人差を考慮した画像データベース基準評定値付与法

心理計量モデルの形式的双対性の観点から

○野村 圭史(東京大学教育学研究科), 熊野 史朗(NTTコミュニケーション科学基礎研究所人間情報部), 岡田 謙介(東京大学教育学研究科)

SB2-3

項目効果の観点から考慮した反応スタイルの検討

○橋 航大(東京大学大学院教育学研究科)

SB2-4

自尊心 IAT の妥当性の検討

課題の修正とモデリングによる検討

○柏原 宗一郎(関西学院大学大学院社会学研究科), 清水 裕士(関西学院大学社会学部)

SB2-5

Best 尺度法による項目反応理論で自尊心のサー斯顿尺度を構成する

○清水 裕士(関西学院大学社会学部), 柏原 宗一郎(関西学院大学社会学研究科)

8月31日(火) 一般セッション(120分)【B会場 F310】
マーケティング(1)

座長:尾崎 幸謙(筑波大学)

CA3-1 13:00~13:20

構造方程式モデリングによる昆虫食評価の要因分析

芳賀 麻誉美(大阪経済大学), ○高橋 尚大(大阪経済大学経営学部), 松本 有姫(大阪経済大学経営学部)

CA3-2 13:20~13:40

ヘアサロンのサービス評価に対する情報効果と個人特性効果の定量化

芳賀 麻誉美(大阪経済大学), ○孫 禹(大阪経済大学経営学研究科)

CA3-3 13:40~14:00

2次の重み付き一般化推定方程式を用いたデータ融合手法の提案

○岸本 和久(岡山大学大学院環境生命科学研究科), 山本 倫生(岡山大学大学院環境生命科学研究科)

CA3-4 14:00~14:20

SNS 投稿による広告オケージョン認知の特定化手法を用いた交通広告の効果測定

○村山 朗(株式会社 Deepblue), 緒方 敦(株式会社ジェイアール東日本企画), 横山 暁(青山学院大学経営学部マーケティング学科), 久保田 進彦(青山学院大学経営学部マーケティング学科)

8月31日(火) ラウンドテーブルディスカッション(120分)【C会場 F303】
COVID-19 意思決定過程の様相

オーガナイザー:角田 弘子(日本ウェルネススポーツ大学)

オーガナイザー: 森本 栄一(株式会社ビデオリサーチ)

討論者:竹村 和久(早稲田大学)

討論者:松原 望(東京大学名誉教授)

討論者:土谷 隆(政策研究大学院大学)

SB3-1

新型コロナウイルス感染統計報道の表現バイアス

松原 望(東京大学名誉教授), 土谷 隆(政策研究大学院大学), ○竹村 和久(早稲田大学文学学術院), 角田 弘子(日本ウェルネススポーツ大学), 森本 栄一(株式会社ビデオリサーチ)

15:20-17:20

8月31日(火) 特別セッション(120分)【A会場 F309】
非対称多元データ

オーガナイザー:今泉 忠(多摩大学経営情報学部)

SB4-1

An elementary theory of a dynamic weighted digraph (4)

○千野 直仁(愛知学院大学)

SB4-2

非対称多次元尺度構成法における非対称性の評価 -I- : How to evaluate asymmetry in asymmetric multidimensional scaling I

○岡太 彬訓(立教大学), 今泉 忠(多摩大学)

SB4-3

非対称多次元尺度構成法における非対称性の評価 -II- : How to evaluate asymmetry in asymmetric multidimensional scaling II

○今泉 忠(多摩大学経営情報学部), 岡太 彬訓(立教大学)

SB4-4

ユーザー生成コンテンツのトピックの解明と非対称性を考慮した分析

○中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科)

8月31日(火) 一般セッション(120分)【B会場 F310】
マーケティング(2)

座長: 芳賀 麻誉美(大阪経済大学)

CA4-1 15:20~15:40

COVID-19による消費財カテゴリー販売量変化に基づく生活者行動の分析
小売店パネルデータによる異常検知とクラスタリングによるアプローチ

○岡 律子((株)インテージ), 小川 大貴((株)インテージ), 篠原 正裕
((株)インテージ)

CA4-2 15:40~16:00

状況の不確実性を考慮に入れたトップマネジメントチームの特徴と経営状況
認識の関係性についての研究

○金井 伸也(筑波大学大学院人文社会・ビジネス科学学術院), 尾崎 幸謙
(筑波大学ビジネスサイエンス系)

CA4-3 16:00~16:20

主観的厚生による企業評価
指標の安定性の確認

○上田 雅夫(横浜市立大学)

CA4-4 16:20~16:40

購入手段による若者の消費行動の特徴分析
—ネット通販と実店舗の利用を焦点に—

○王 喆珺(同志社大学大学院文化情報学研究科), 鄭 躍軍(同志社大学)

8月31日(火) 一般セッション(120分)【C会場 F303】

教育・テスト

座長:岡田 謙介(東京大学)

CA5-1 15:20～15:40

Local dependence biclustering

○荘島 宏二郎(大学入試センター研究開発部)

CA5-2 15:40～16:00

学力調査データの1次元性と多次元性の評価

PISA2012調査とシミュレーションデータを用いて

○袈岩 晶(国立教育政策研究所), 篠原 真子(国立教育政策研究所)

CA5-3 16:00～16:20

A Collapsed Gibbs Sampling Algorithm for Diagnostic Classification Models

○山口 一大(筑波大学), Templin Jonathan(University of Iowa)

CA5-4 16:20～16:40

スタナインを得点調整に使うと

○橋本 貴充(大学入試センター), 荘島 宏二郎(大学入試センター), 宮澤 芳光(大学入試センター), 石岡 恒憲(大学入試センター), 前川 眞一(大学入試センター)

CA5-5 16:40～17:00

項目暴露を軽減する二段階等質適応型テストの提案

○宮澤 芳光(大学入試センター), 植野 真臣(電気通信大学)

9月1日(水)

09:30-11:00

9月1日(水) 特別セッション(90分)【A会場 F309】
ヘルスケアと消費者行動:健康政策・コロナ対策に着目して

オーガナイザー:櫻井 宏明(文教大学経営学部)

オーガナイザー,司会者:森 一将(文教大学)

討論者:目加田 優子(文教大学)

SB5-1

健康食品に対する消費者行動パーソナリティ特性の関係について

○森 一将(文教大学), 櫻井 宏明(文教大学経営学部)

SB5-2

健康食品のイメージについて

○大森 拓哉(杏林大学), 森 一将(文教大学)

SB5-3

消費者が注目する食品パッケージの表現要素

アイトラッキングによる分析

○浅川 雅美(文教大学), 岡野 雅雄(文教大学)

SB5-4

コロナ禍での大学におけるヘルスケア

学生・教職員等へのメッセージの分析を通して

○渋井 進(大学改革支援・学位授与機構 研究開発部), 赤川 裕美(大学改革支援・学位授与機構 研究開発部)

9月1日(水) 一般セッション(90分)【B会場 F310】
マーケティング(3)

座長:橋本 貴充(大学入試センター)

CA6-1 9:30~9:50

モバイル利用のライフスタイル(1)

— ケータイ機能利用意識の時系列的考察 —

鮑戸 弘(東京大学(名誉教授)), ○吉良 文夫((株)NTTドコモ モバイル社会研究所)

CA6-2 9:50～10:10

モバイル利用のライフスタイル(2)

— ターゲティング広告の認知に関する研究 —

飽戸 弘(東京大学(名誉教授)), 吉良 文夫((株)NTTドコモ モバイル社会研究所), ○松本 卓((株)NTTドコモ モバイル社会研究所)

CA6-3 10:10～10:30

モバイル利用のライフスタイル(3)

— シニアのスマートフォン所有者における関与1 —

飽戸 弘(東京大学(名誉教授)), ○近藤 勢津子((株)NTTドコモ モバイル社会研究所), 水野 一成(NTTドコモ モバイル社会研究所)

CA6-4 10:30～10:50

モバイル利用のライフスタイル(4)

— シニアのスマートフォン所有者における関与 2 —

飽戸 弘(東京大学), 近藤 勢津子((株)NTTドコモ モバイル社会研究所), ○水野 一成((株)NTTドコモ モバイル社会研究所)

9月1日(水) ラウンドテーブルディスカッション(60分)【C会場 F303】
多様な非対称データのための分析モデルとその応用

オーガナイザー: 今泉 忠(多摩大学経営情報学部)

SB6-1

マーケティングにおける非対称データ分析の適用可能性

○中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科)

SB6-2

化学反応系、電気回路網、ニューラルネットワークなどの非対称データとそれらの構造及び力動特性

○千野 直仁(愛知学院大学)

SB6-3

抗菌薬の交叉耐性状況の可視化

非対称データ分析の臨床応用への第一歩

○初田 泰敏(大阪大谷大学薬学部)

11:00-12:00

9月1日(水) ポスター発表(60分)【F402, F409】

座長:吉田 清隆(杏林大学)

P01

一般人口における抑うつ評価尺度の項目反応は、特徴的な数理パターンを示す

○富高 辰一郎(パナソニック健康管理センター/メンタルヘルス科), 古川 壽亮(京都大学医学部)

P02

ω 係数の変化形とその使い分け

○小野島 昂洋(早稲田大学大学院教育学研究科)

P03

死を日常的に感じた経験が健康行動に及ぼす影響の検討
時間選好との関連をふまえて

○渡辺 直紀((株)明治安田総合研究所 ヘルスケア・デジタル研究部)

P04

日本人の環境意識

第14次国民性調査による検討

○加藤 直子(情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設
社会データ構造化センター)

P05

社会階層意識項目における選択肢分割効果

○増田 真也(慶應義塾大学看護医療学部), 脇田 貴文(関西大学社会学部)

P06

ラバーハンド錯覚誘導に対する反応性の個人差を定量化する試み

変量効果を含む順序プロビット回帰モデルを用いてリックカート項目評定データから錯覚誘導「無反応者」を推定する

○山縣 豊樹(北海道大学大学院文学研究科), 水鳥 翔伍(北海道大学大学院文学院), 市川 加伊斗(北海道大学文学部), 小川 健二(北海道大学大学院文学研究院)

P07

現代日本人の地方への移住意向:「日本人の国民性調査」第14次全国調査結果を中心に

○朴 堯星(統計数理研究所), 前田 忠彦(統計数理研究所)

P08

値引き刺激と消費者の支払手段の選択

参照点の移動による購買現象の説明

○陳 超(駒澤大学経営学研究科経営学専攻), 若山 大樹(駒澤大学経営学部)

P09

無謀な賭け行動の数理モデル

直観的・合理的処理を2つの確率割引関数で表現する

○田岡 大樹(京都大学, 日本学術振興会), 楠見 孝(京都大学)

P10

チームデータ分析における機械学習の活用手法とその適用事例

○仲間 大輔(株式会社リクルートマネジメントソリューションズ HAT-Lab),
入江 崇介(株式会社リクルートマネジメントソリューションズ HAT-Lab), 宇野 渉(株式会社リクルートマネジメントソリューションズ HAT-Lab)

P11

時系列分析を用いた犯罪抑止対策の効果検証

自動車盗のイモビライザーと自動販売機の防盜性能向上

○島田 貴仁(科学警察研究所), 齊藤 知範(科学警察研究所), 山根 由子(科学警察研究所)

14:20-16:20

9月1日(水) 大会シンポジウム(120分)【A会場 F309】

オーガナイザー, 司会者: 今泉 忠(多摩大学)

行動計量学とデータ科学(サイエンス)の「接平面」

シンポジスト:

足立 竜治(ソフトバンク株式会社)

竹村 彰通(滋賀大学)

中西 崇文(武蔵野大学)

酒折 文武(中央大学)

山口 和範(立教大学)

16:40-17:40

9月1日(水) 柳井レクチャー(60分)【A会場 F309】

司会者:吉野 諒三(同志社大学)

多重対応分析の因子分析的の使用 -社会調査データの記述的多変量解析-

○村上 隆(中京大学文化科学研究所)

9月2日(木)

10:00-12:00

9月2日(木) 特別セッション(120分)【A会場 F309】

マーケティングにおけるデータサイエンス(1)

オーガナイザー,司会者:中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科)

オーガナイザー,司会者,討論者:鶴見 裕之(横浜国立大学大学院国際社会科学研究院)

SB7-1

広告におけるコンセンサス言語が購買意図に与える影響の研究

○王 義淳(横浜国立大学大学院), 鶴見 裕之(横浜国立大学)

SB7-2

オンライン・レビューの有用度に対する感情要素の影響分析-文脈による感情の影響の違いに注目して-

○馮 超禹(横浜国立大学大学院), 鶴見 裕之(横浜国立大学)

SB7-3

デザインマーケティングの考え方

○井上 勝雄(東海大学工学部)

SB7-4

救急搬送データの分析より乳幼児の安全を考える

○田久 浩志(国士舘大学大学院救急システム研究科)

9月2日(木) 一般セッション(120分)【B会場 F310】
文化・テキストマイニング

座長:横山 暁(青山学院大学)

CA7-1 10:00~10:20

現代小説における文末表現の通時変化についての計量分析

○李 広微(同志社大学文化情報学研究科), 金 明哲(同志社大学文化情報学部)

CA7-2 10:20~10:40

Twitterにおける新型コロナ関連のトピックと感情変化の計量分析

○神田 泰誠(同志社大学文化情報学研究科), 金 明哲(同志社大学文化情報学部)

CA7-3 10:40~11:00

定性的データ分析から見る点前の流派間の特徴

○耕三寺 華蓮(同志社大学大学院文化情報学研究科), 金 明哲(同志社大学文化情報学部)

CA7-4 11:00~11:20

品詞活用形情報に着目した日本語文章の著者推定

○柳 燁佳(同志社大学文化情報学研究科), 金 明哲(同志社大学文化情報学部)

9月2日(木) 一般セッション(120分)【C会場 F303】
健康

座長:角田 弘子(日本ウェルネススポーツ大学)

CA8-1 10:00~10:20

一般人口における抑うつ評価尺度の総スコアの分布は、指数分布に近似する

○冨高 辰一郎(パナソニック健康管理センター/メンタルヘルス科), 古川 壽亮(京都大学 医学部)

CA8-2 10:20～10:40

共感的ネット利用がレジリエンスと QOL に及ぼす影響の縦断研究

○鎌田 正行(創価大学大学院理工学研究科情報システム工学専攻), 坂部 創一(創価大学大学院理工学研究科情報システム工学専攻)

CA8-3 10:40～11:00

新型うつ傾向とネット依存・デジタル認知症傾向との関連分析と予防策

○坂部 創一(創価大学理工学部情報システム工学科)

CA8-4 11:00～11:20

新型コロナウイルス感染症流行が社会に与えた心理的影響に対する因子の分析

予測モデルによる寄与率の測定

○奥山 純子(東北大学病院肢体不自由リハビリテーション科), 門廻 充侍(東北大学災害科学国際研究所), 福田 雄(ノートルダム清心女子大学), 伊藤 潔(東北大学災害医学研究部門), 出江 紳一(東北大学病院肢体不自由リハビリテーション科), 今村 文彦(東北大学災害科学国際研究所)

CA8-5 11:40～12:00

5 自治体での共通アンケートデータを用いた主観的健康・幸福感とその性格についてのクラスタリング

○櫻井 瑛一(産業技術総合研究所), 本村 陽一(産業技術総合研究所), 久野 譜也(筑波大学), 塚尾 晶子(株式会社つくばウエルネスリサーチ), 近藤 克則(千葉大学), 駒村 康平(慶応義塾大学), 岡田 幸彦(筑波大学)

13:00-15:00

9月2日(木) 特別セッション(120分)【A会場 F309】
マーケティングにおけるデータサイエンス(2)

オーガナイザー,司会者:中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科)

オーガナイザー,司会者,討論者:鶴見 裕之(横浜国立大学大学院国際社会科学
研究院)

SB8-1

広告コンテンツの Deep Learning を用いた分析による imagery markets にお
けるブランド混同の予測

○中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科)

SB8-2

デザイン評価へのベイジアンネットワークの適用と考察

○小口 裕(株式会社プラグ)

SB8-3

評価構造の個人差を考慮した選好回帰分析の一考察

○小代 禎彦(TOTO(株))

SB8-4

企業の社会的行動に対する消費者知覚の研究

○土田 尚弘(麗澤大学経済学部)

9月2日(木) 特別セッション(120分)【B会場 F310】
社会の課題解決のための社会調査・世論調査

オーガナイザー,司会者,討論者:吉野 諒三(同志社大学)

SB9-1

社会調査へのサンプルの参加協力度とバイアス

回収サンプル・プロファイリングの予備的考察

○吉野 諒三(同志社大学)

SB9-2

調査データに基づく環境保全対策に対する意識分析

○陳 艶艶(福岡工業大学社会環境学部), 林 文(東洋英和女学院大学)

SB9-3

持続可能な開発目標 SDGsと市民意識
-ジェンダーの文化多様体解析の試行-
○角田 弘子(日本ウェルネススポーツ大学)

SB9-4

調査環境に適した調査モードの応用的考察
○鄭 躍軍(同志社大学文化情報学部)

SB9-5

林知己夫と社会調査・調査
○林 文(東洋英和女学院大学)

9月2日(木) 一般セッション(120分)【C会場 F303】
認知・情報・AI

座長:森 一将(文教大学)

CA9-1 13:00～13:20

多相を考慮する項目反応モデルを用いた表情評定データの分析
○島津 奈留(東京大学大学院教育学研究科), 則近 千尋(東京大学大学院教育学研究科), 岡田 謙介(東京大学大学院教育学研究科), 遠藤 利彦(東京大学大学院教育学研究科)

CA9-2 13:20～13:40

時間的非整合性の教示により個別の意思決定戦略の獲得を支援するエージェントシステムの考案
○池田 欣生(電気通信大学), 橋山 智訓(電気通信大学)

CA9-3 13:40～14:00

AIによる転倒リスクが高い高齢者の判定方法
○紺野 剛史(富士通株式会社), 近野 恵(富士通株式会社)

CA9-4 14:00～14:20

AIによる不審行動人物検知の検討
○近野 恵(富士通株式会社), 栗井 修司(富士通株式会社), 紺野 剛史(富士通株式会社)

CA9-5 14:20～14:40

戦略別計算課題の反復時の事象関連電位の類似度の変化と正答率との関係

○渋川 美紀(白鷗大学), 船田 眞里子(白鷗大学)

CA9-6 14:40～15:00

m-DSAM のパラメタを用いた事象関連電位による学習状態の判別

○船田 眞里子(白鷗大学), 船田 忠((株)藤掛商店)

M E M O

日本行動計量学会第 49 回大会

主催：日本行動計量学会第 49 回大会実行委員会

於：杏林大学井の頭キャンパス

開催日：2021 年 8 月 30 日～9 月 2 日

○ 実行委員会

大会実行委員会委員長

吉田 清隆(杏林大学)

実行委員

大森 拓哉(杏林大学)

池田 一磨(杏林大学)

田中 薫(杏林大学)

坪下 幸寛(杏林大学)

橋本 晃生(杏林大学)

山田 慎(杏林大学)

芳賀 麻誉美(大阪経済大学)

橋本 貴充(大学入試センター)

森 一将(文教大学)

横山 暁(青山学院大学)

○ 協賛(2021 年 6 月 30 日現在)

株式会社 NTTデータ数理システム

株式会社 講談社

一般社団法人 社会調査協会

編集：日本行動計量学会第 49 回大会実行委員会

発行：日本行動計量学会